

たちばな たかし

立花 隆

* 昭和15年5月28日

長崎市生まれ



○ 略歴

- 昭和39年 東京大学卒業後「文藝春秋」入社 「週刊文春」担当となる（昭41退社）
（24歳）
- 昭和43年 「素手でのし上がった男たち」を立花隆の名前で発表 言論活動開始
（28歳）
- 昭和49年 膨大な資料を駆使し実像に迫った「特集 田中角栄研究」で一躍脚光を浴びる
（34歳） 同作で、第36回文藝春秋読者賞受賞
- 昭和58年 徹底した取材と卓抜な分析力により幅広いニュージャーナリズムを確立
（43歳） した文筆活動が評価され、菊池寛賞を受賞
「田中角栄と私の9年間」で第45回 文藝春秋読者賞 受賞
- 平成4年 小石川に知の要塞『猫ビル』完成
（52歳）
- 平成7年 東京大学先端科学技術研究センター客員教授
（55歳）
- 以降 東京大学、立教大学客員教授等を歴任し、
現在、東京大学大学院情報学環特任教授（2007年～）、
日本科学未来館総合監修委員（2012年～）

○ 主な受賞歴

- | | | |
|-------|--------------|------------------|
| 昭和49年 | 文藝春秋読者賞 | 「田中角栄研究」 |
| 昭和50年 | 新評賞 | 「田中角栄研究 その金脈と人脈」 |
| 昭和54年 | 講談社ノンフィクション賞 | 「日本共産党の研究」 |
| 昭和58年 | 第31回 菊池寛賞 | |
| 昭和58年 | 文藝春秋社読者賞 | 「田中角栄と私の9年間」 |
| 昭和62年 | 毎日出版文化賞 | 「脳死」 |
| 平成3年 | 新潮学芸賞 | 「精神と物質」 |
| 平成5年 | 大川出版賞 | 「脳進化論」 |
| 平成10年 | 第1回 司馬遼太郎賞 | |
| 平成10年 | 第49回 放送文化賞 | |

○ その他の代表作

中核 VS 革マル(昭50)、アメリカ性革命報告(昭54)、農協(昭55)

脳死(昭61)、サル学の現在(平03)、宇宙よ(平04)